

平成22年度予算に対する 各党派の意見表明・討論

平成22年度一般会計ほか、6特別会計予算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、予算特別委員会(委員長 しばさき幹男、副委員長 さんのへ英一)を設置し、12日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。
各党派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

財源確保を図り区民の福祉の向上と発展に！ 練馬区議会自由民主党(14人)

平成22年度練馬区一般会計予算および各特別会計予算に賛成の立場から意見表明を行う。大変厳しい社会経済状況の下、区財政への影響も懸念される中、区民福祉の向上と発展の為、無駄の排除の徹底と必要経費の精査を行なうと共に、会派要望による大規模な経済対策を盛り込んだ予算編成を評価する。以下、各款ごとに意見・要望を述べる。

【都区財調・財政計画】①新基本構想に基づいた予算執行を。②社会資本整備総合交付金獲得に努力を。③現政権のバラマキ政策は不可。日本は「何で食べていくのか」の成長戦略構築の要望を。④国保会計と後期高齢者医療会計は、持続可能な制度運営の為に、収入と支出のバランス確保を。【議会費・総務費】①豊島園と連携し、夢のある事業展開の検討を。②公共事業の発注は区内事業者育成と雇用に充分な配慮を。③安全面から庁舎西側歩道の拡幅を。④職員

数の適正化・組織のスリム化・効率化に向け更なる行革の推進を。⑤柔軟な人事配置をもとに特例転職制度の活用を拡充・強化を。⑥映像伝達は関係機関と連携を図り災害時の状況の把握を。⑦デジタル防災移動システムの整備を着実に。⑧石泉地域の防災高所カメラの的確な運用を。⑨全国瞬時警報システムの導入を。⑩全避難拠点に夜間照明の早期設置を。

【区民費・産業地域振興費】①区民事務所の繁忙期対策の強化及び出張所との再編の検討を。②国・都と連携し、更なるアニメ産業の集積強化と地域経済の活性化の実現を。③町会・自治会への更なる支援を。④ご当地グルメの祭典でまちおこしの定着を。⑤生鮮三品の更なる支援を。⑥都市農地は社会的共通資本であることを明確にし、政策に農業の位置づけを。⑦金子ゴールテンの育成事業に支援を。【保健福祉費】①成人歯科健

診においては、歯科医師会との協議・連携のもと、対象年齢・検診内容の拡充を。②口腔がん早期発見啓発事業の創設を。③子宮頸がん予防ワクチンの補助制度や父母への説明会を。④療養病床の確保と回復期のリハビリ病床の新設を。⑤がんにおける緩和ケア病棟の新設の検討を。⑥認知症家族介護者支援システムの構築を。⑦認知症「特発性正常圧水頭症」は医療連携で早期発見・治療を。⑧特別養護老人ホームの増設を。⑨シルバー人材センター施策の取り組みは更に強化を。

【児童青少年費・環境清掃費】①子ども手当は児童養護施設にいる子供たちへの給付も要請を。②児童虐待早期発見の体制づくりを強力に推進。③民設子育て広場への支援の拡充と施設の偏在是正を図り整備を。④病後児保育医療機関併設型施設は、地域バランスを考慮早期に整備を。⑤認定こども園は、私立幼稚園と具体的な相談を図りながら増設

【教育費】①土曜日授業の再開の検討を。②国民読書年にならわしいイベント開催を。③新しい図書館構想の策定を。④小中学校耐震化工事は全額自主財源でも計画通り実施を。⑤トイレ改修早期実施を。⑥給食室に空調機を。⑦学校給食の食材納入と備品購入は、区内優先調達を。⑧全国学力テストは練馬区も参加を。⑨私立幼稚園に助成の充実を。⑩幼稚園の保護者負担軽減を。

【保健福祉費】①高齢者お困りごと支援事業の周知を。②仮称「子ども発達支援センター」で2次障害の予防を。③5歳児健診の実施を。④保護者が選択できる任意予防「赤ちゃんにこころこ接種券」事業の実施を。⑤「女性特有のがん検診」無料クーポン券事業の5年間継続を。⑥高齢者に肺炎球菌ワクチン予防接種の助成を。⑦視覚障がい者用母子手帳の配布を。⑧医療機能をもつ新病院を早期に誘致を。

【児童青少年費・環境清掃費】①子ども手当の財源は全額国庫負担で。②ねりまキッズ安心メール事業の対象に学校応援団も。③安心タクシーの増車と周知を。④「外遊び事業」の早期実施を。⑤保育所待機児童解消のため私立認可保育所の誘致整備を。⑥練馬型グループ保育室の増設を。⑦中高生の居場所となる大型児童館の整備を。⑧駅周辺の喫煙所の整備を。【都市整備費・土木費】①住民に補助230号線の情報提供を。②地下鉄各駅にホームドアの設置を。③みどりバスの既存ルートは増便と延伸を。④西武新宿線立体交差化は隣接区市と連携を。⑤成年後見制度を活用し高齢者の住環境整備を。⑥河川改修工事は稲荷橋付近から開始を。⑦幼児2人同乗自転車レンタル事業は増車を。⑧同事業実施に併せ幼児用ヘルメットの付属貸与を。⑨交通マナー向上に「自転車警告カード」の活用を。

【教育費】①南大泉職員住宅跡に保育園と子ども図書館を。②学校私費会計の責任体制を明確に。③光が丘新校に図書館開放を。④給食第一・第二総合調理場跡地に介護施設・保育園等の施設整備を。⑤小中学校のトイレを洋式に。⑥小中一貫教育校ではスムーズな運営を。⑦外国語活動指導員の時間拡充と電子黒板の活用を。⑧運動能力向上の検定の導入を。⑨大自然とふれあえる青森県鮎ヶ沢町等の交流機会推進を。

【一般会計歳入・各特別会計】①財源確保のため国庫支出金の活用を。②区有地活用による民設施設誘致のガイドライン作成を。③財政計画表に特定財源の明記を。④国保会計の変更についての説明と相談体制の拡充を。⑤出産時の一時金の区貸付額の増額を。

保育園待機児童の解消に向け全力の取組みを 練馬区議会公明党(12人)

平成22年度練馬区一般会計予算および6特別会計予算について賛成する。区民生活防衛対策、保育所待機児童解消対策としての入所定員的大幅拡充、高齢者お困りごと支援事業の開始、区有地活用による民設特別養護老人ホームの誘致など公明党が要望したも

ので高く評価する。【都区財調・財政計画】①経済財政状況に配慮し調整3税55%を都区間で再協議を行。②後年度負担に配慮し起債発行者施策と子育て支援の実施を。④区職員数の適正化を。【議会費・総務費】

①職員研修科目にEラーニングの導入を。②庁舎各階トイレに温水洗浄機を。③区報を全世帯へ配布を。④期日前投票所の増設を。⑤男女共同参画推進事業の担い手の育成を。【区民費・産業地域振興費】①石神井公園駅に自動交付機新設を。②コンビニの多機能端末機からも各種証明書を。③免許証の自主返納者に写真付住基カードの無料交付を。④新スーパーサポート貸付の返済期間の延長を。⑤商店街AEDの設置場所の周知を。

【保健福祉費】①高齢者お困りごと支援事業の周知を。②仮称「子ども発達支援センター」で2次障害の予防を。③5歳児健診の実施を。④保護者が選択できる任意予防「赤ちゃんにこころこ接種券」事業の実施を。⑤「女性特有のがん検診」無料クーポン券事業の5年間継続を。⑥高齢者に肺炎球菌ワクチン予防接種の助成を。⑦視覚障がい者用母子手帳の配布を。⑧医療機能をもつ新病院を早期に誘致を。

【児童青少年費・環境清掃費】①子ども手当の財源は全額国庫負担で。②ねりまキッズ安心メール事業の対象に学校応援団も。③安心タクシーの増車と周知を。④「外遊び事業」の早期実施を。⑤保育所待機児童解消のため私立認可保育所の誘致整備を。⑥練馬型グループ保育室の増設を。⑦中高生の居場所となる大型児童館の整備を。⑧駅周辺の喫煙所の整備を。【都市整備費・土木費】①住民に補助230号線の情報提供を。②地下鉄各駅にホームドアの設置を。③みどりバスの既存ルートは増便と延伸を。④西武新宿線立体交差化は隣接区市と連携を。⑤成年後見制度を活用し高齢者の住環境整備を。⑥河川改修工事は稲荷橋付近から開始を。⑦幼児2人同乗自転車レンタル事業は増車を。⑧同事業実施に併せ幼児用ヘルメットの付属貸与を。⑨交通マナー向上に「自転車警告カード」の活用を。

【教育費】①南大泉職員住宅跡に保育園と子ども図書館を。②学校私費会計の責任体制を明確に。③光が丘新校に図書館開放を。④給食第一・第二総合調理場跡地に介護施設・保育園等の施設整備を。⑤小中学校のトイレを洋式に。⑥小中一貫教育校ではスムーズな運営を。⑦外国語活動指導員の時間拡充と電子黒板の活用を。⑧運動能力向上の検定の導入を。⑨大自然とふれあえる青森県鮎ヶ沢町等の交流機会推進を。

【一般会計歳入・各特別会計】①財源確保のため国庫支出金の活用を。②区有地活用による民設施設誘致のガイドライン作成を。③財政計画表に特定財源の明記を。④国保会計の変更についての説明と相談体制の拡充を。⑤出産時の一時金の区貸付額の増額を。

【行革撤回し、区民の暮らし・福祉を守る予算を
日本共産党練馬区議団(6人)

10年度一般会計と国保、介護保険、後期高齢者医療の4会計予算に反対する。区がすべきことは、区民のく

深大な不況と雇用破壊が国民生活を直撃しているもとで、区がすべきことは、区民のく

の要請を。



練馬公民館前の桜

